

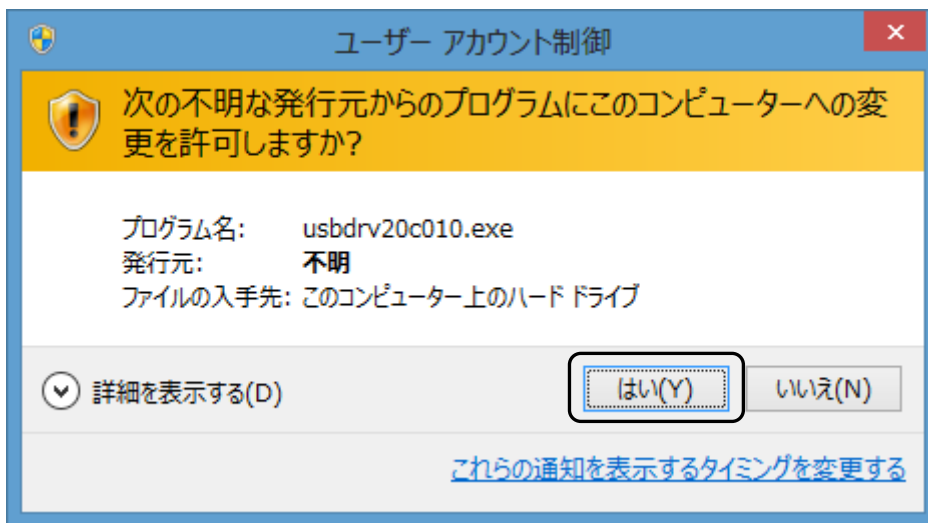
○USBドライバのインストール方法(Windows 8をお使いの場合)

2014年8月1日
日本無線株式会社

1. ダウンロードした「usbdrv20c010.exe」を実行し、ドライバファイルを任意の場所に解凍します。
例) C:\Users\PHS\Desktop

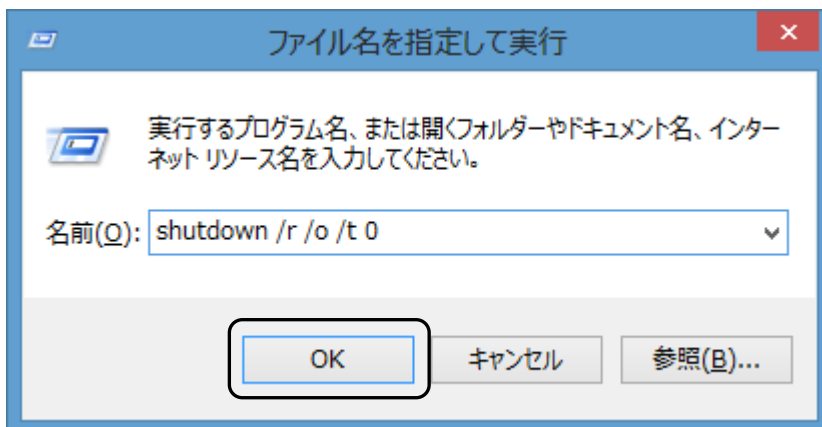
尚、本インストール手順書では上記場所(デスクトップ)に解凍した場合を例に説明致します(上記例はログイン時のユーザー名が「PHS」の場合です)。

「usbdrv20c010.exe」を実行した際に、ユーザーアカウント制御ダイアログが表示された場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。



- 64bit 版をお使いの場合 ⇒ 手順2へ
32bit 版をお使いの場合 ⇒ 手順9へ

2. パソコン上のキーボードで「Windows」キーを押しながら「R」キーを押します。
3. 「ファイル名を指定して実行」画面が起動されるので、「shutdown /r /o /t 0」を入力し、「OK」をクリックします。



4. パソコンが再起動し、下記画面が表示されるので、「トラブルシューティング」をクリックします。

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



5. 「詳細オプション」をクリックします。

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



6. 「スタートアップ設定」をクリックします。

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



7. 「再起動」をクリックします。

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。



8. パソコンが再起動し、下記画面が表示されるので、「7」キーまたは「F7」キーを押します。

使用するパソコンによっては、一部画面が異なる場合があります。

スタートアップ設定

オプションを選択するには、番号を押してください。

番号には、数字キーまたはファンクションキーのF1からF9を使用します。

- 1) デバッグを有効にする
- 2) ブートログを有効にする
- 3) 低解像度ビデオを有効にする
- 4) セーフモードを有効にする
- 5) セーフモードとネットワークを有効にする
- 6) セーフモードとコマンドプロンプトを有効にする
- 7) ドライバー署名の強制を無効にする
- 8) 起動時マルウェア対策を無効にする
- 9) 障害発生後の自動再起動を無効にする

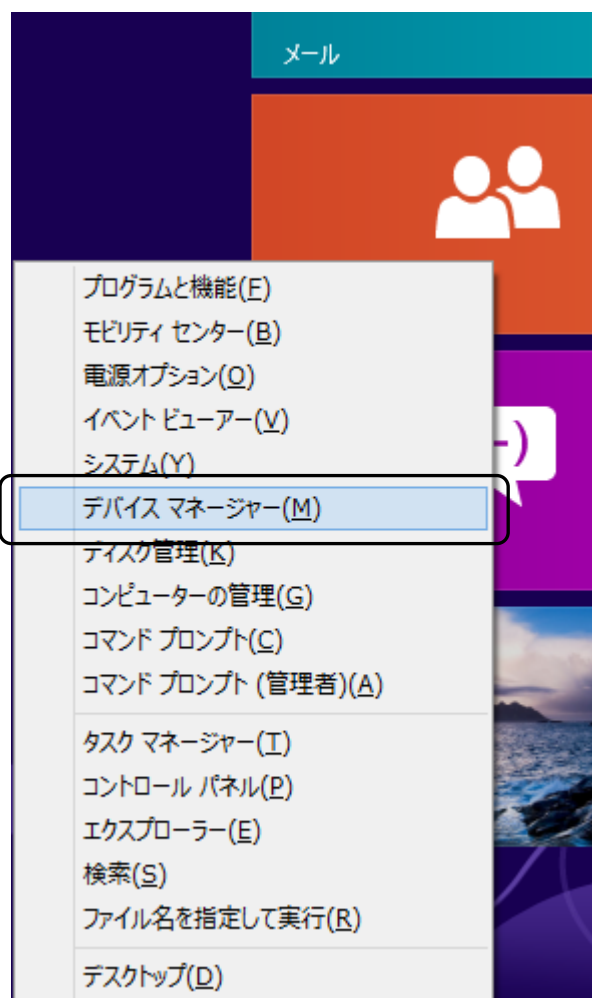
その他のオプションを表示するには、F10キーを押してください

オペレーティングシステムに戻るには、Enterキーを押してください

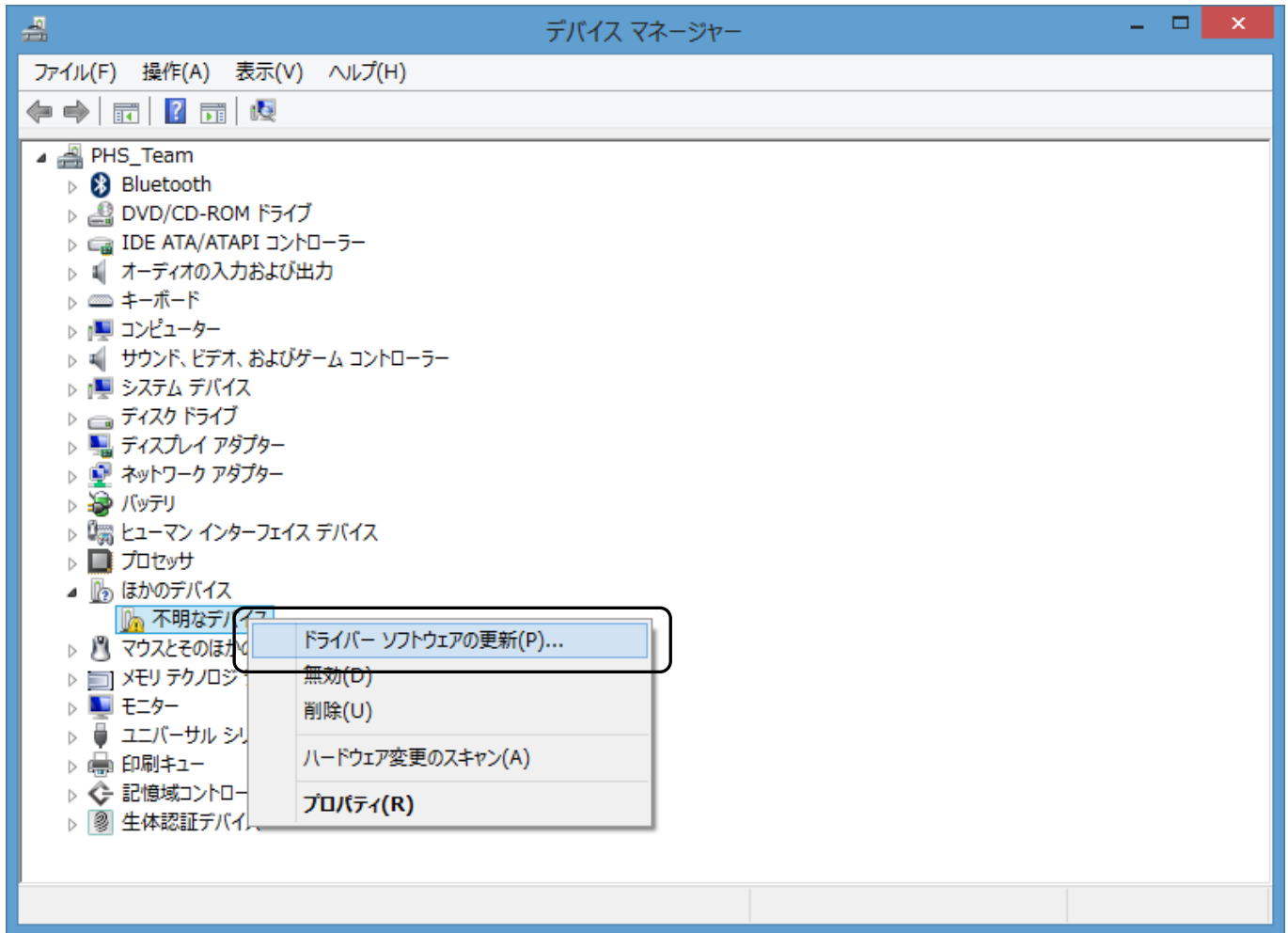
パソコンが起動したら、次の手順に進みます。

9. 301JR とパソコンを USB 接続します。

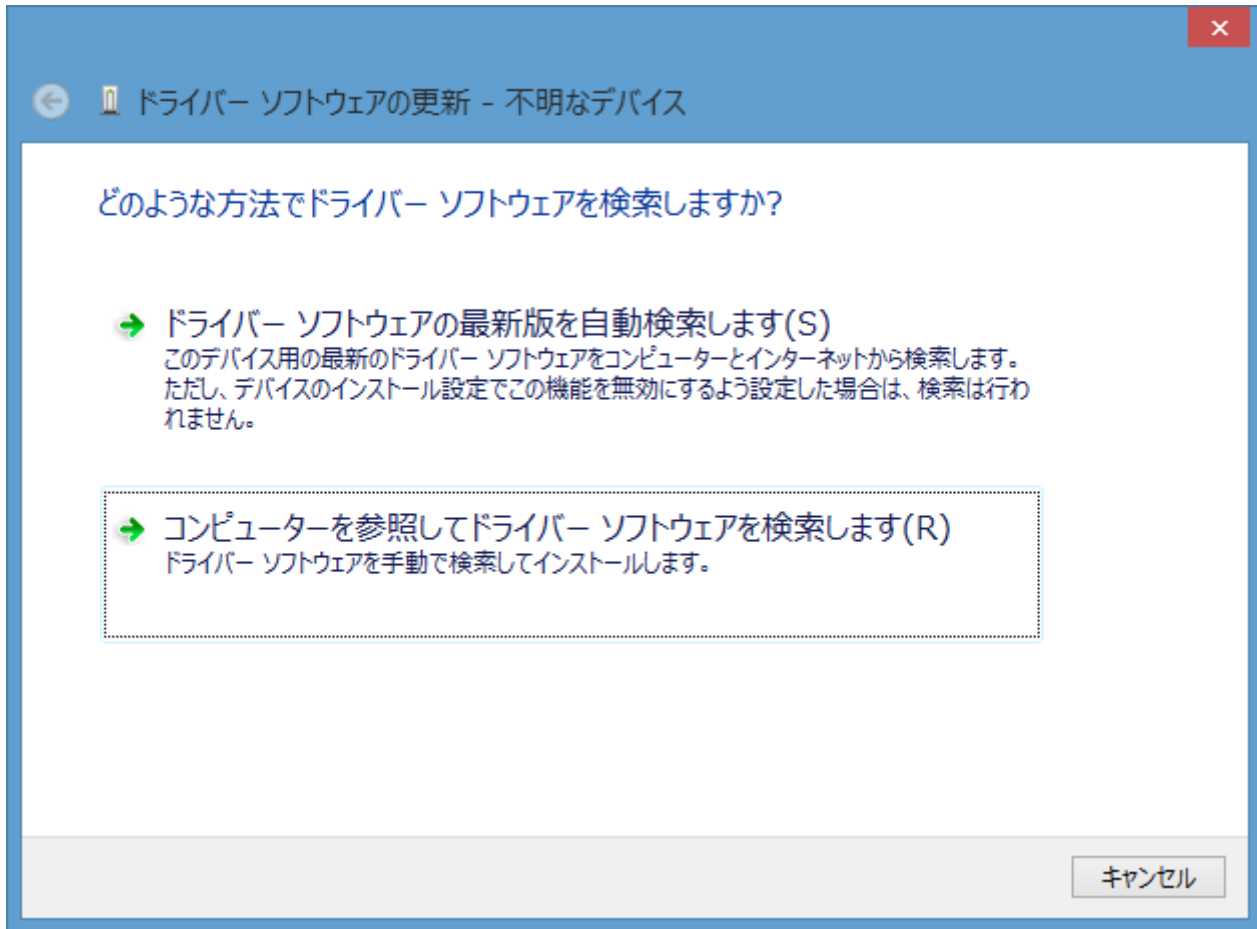
10. パソコン上のキーボードで「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、「デバイスマネージャー (M)」を選択します。



11. 「不明なデバイス」を右クリックし、「ドライバーソフトウェアの更新(P)」をクリックします。



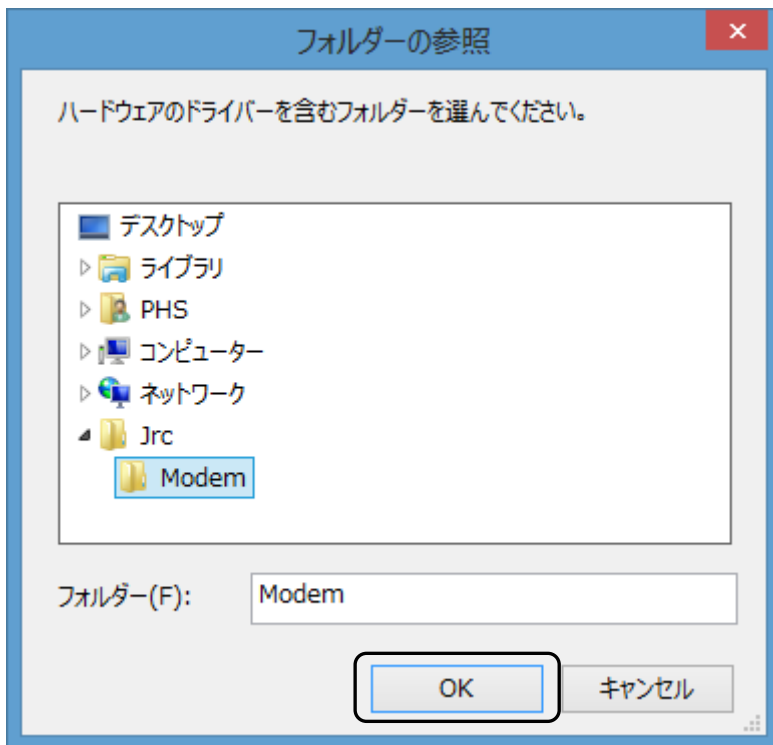
12. 「コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索します(R)」をクリックします。



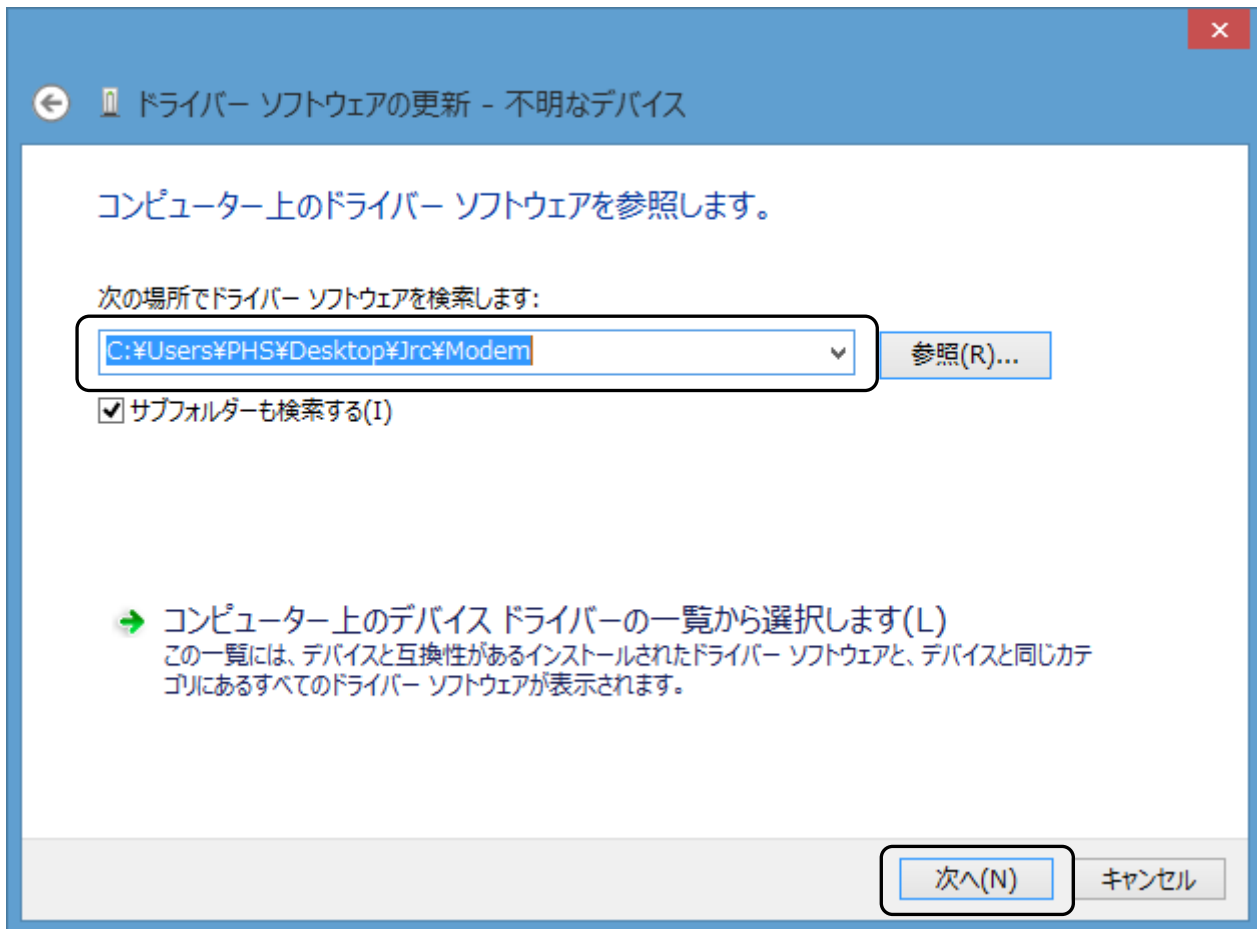
13. 「参照(R)」をクリックします。



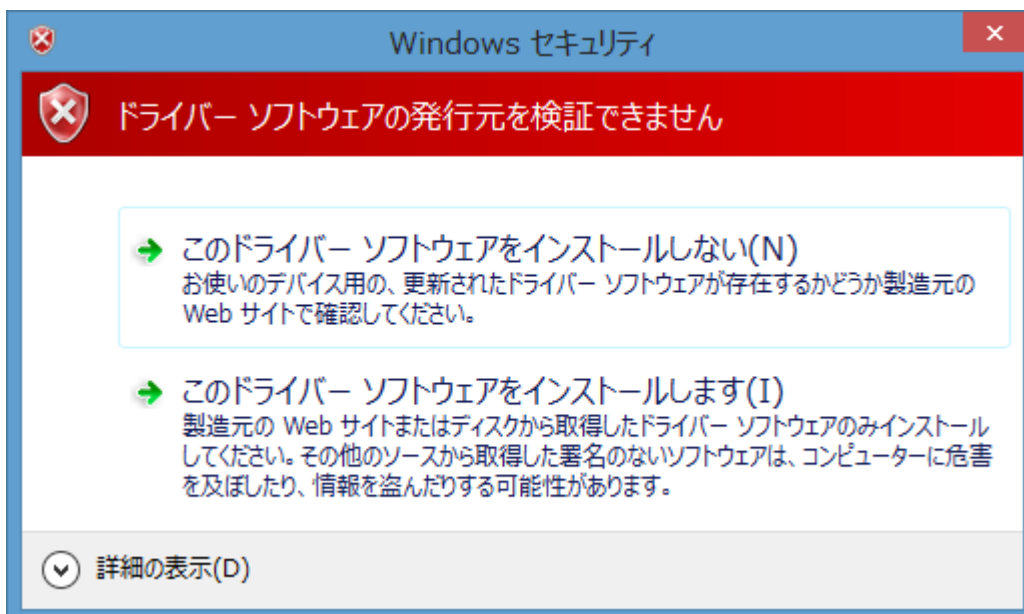
14. 下記のフォルダを指定し、「OK」をクリックします。



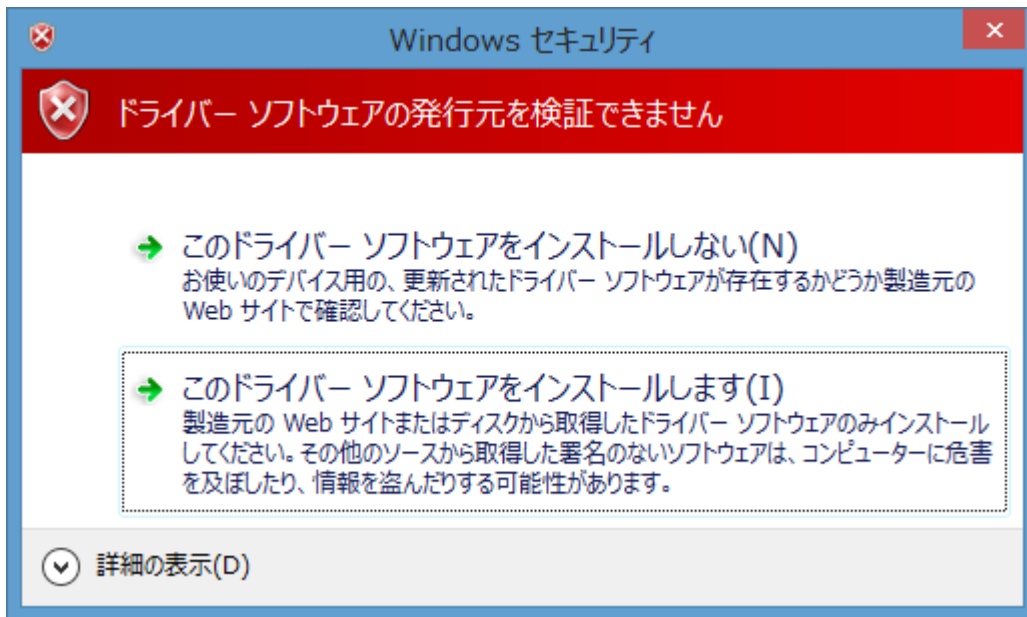
15. 「次の場所でドライバーソフトウェアを検索します」が更新されたかどうかを確認し、「次へ(N)」をクリックします。



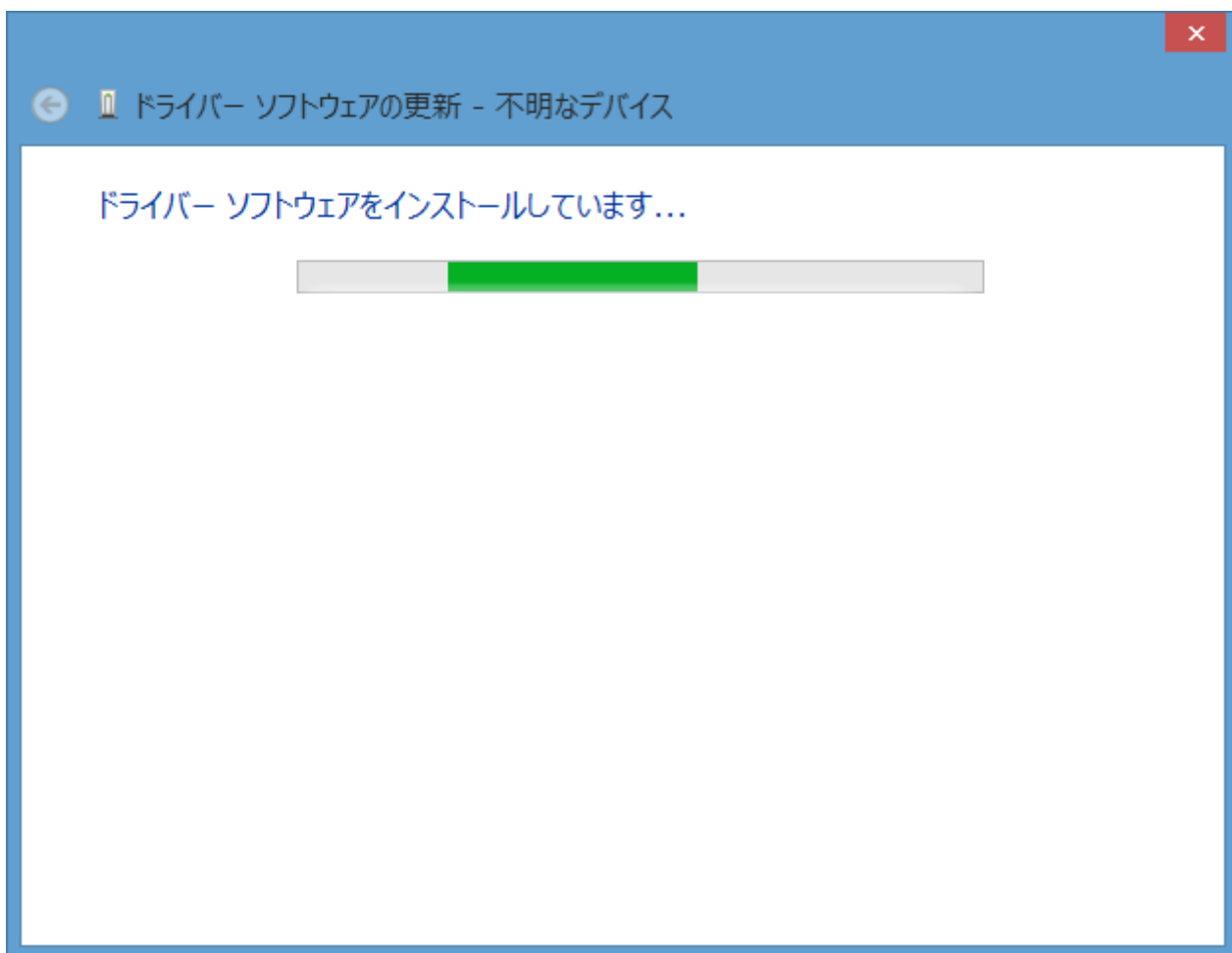
下記画面が表示されます。



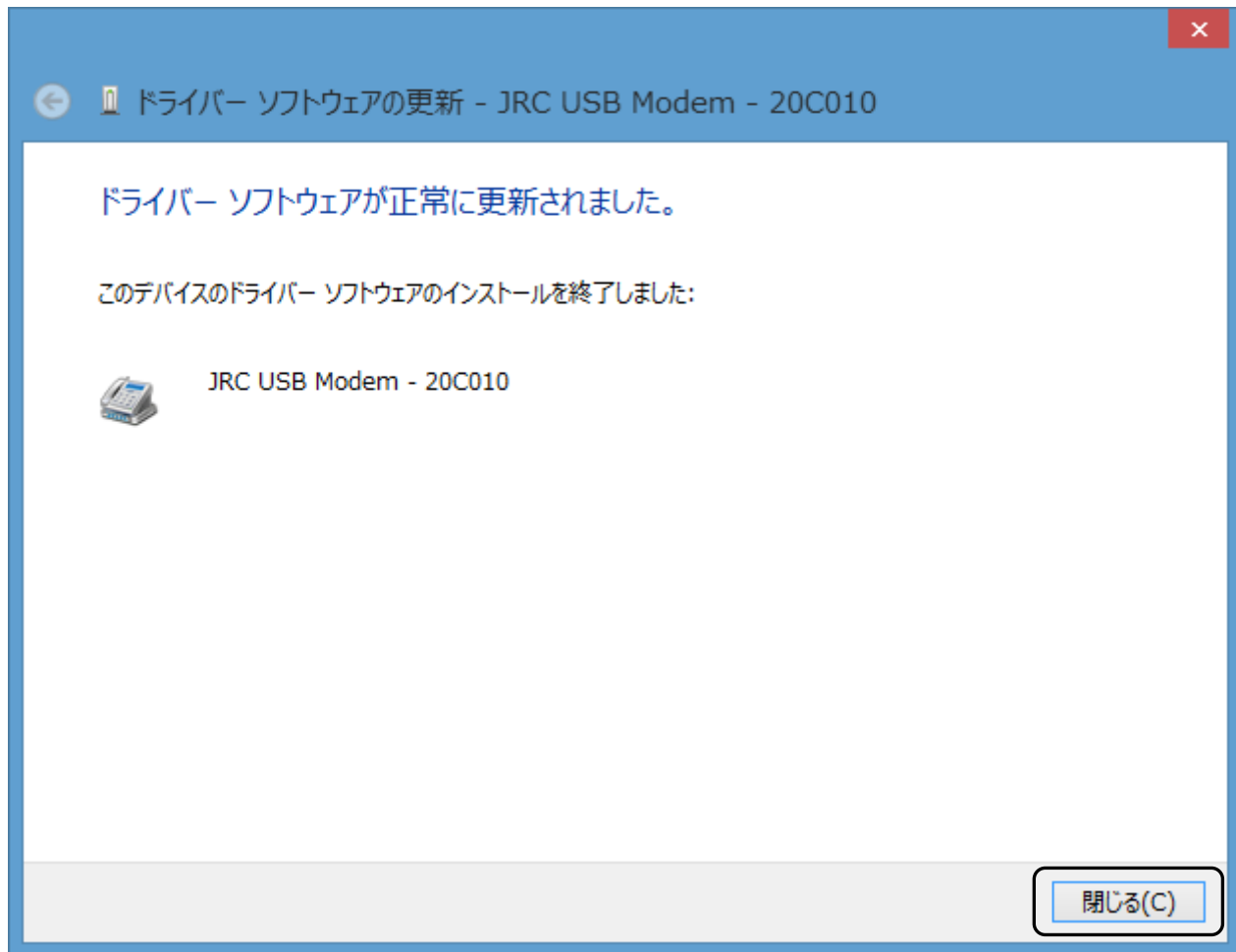
16. 「このドライバーソフトウェアをインストールします(I)」をクリックします。



ドライバーソフトウェアのインストールが行われます。



17. インストールしたドライバが「JRC USB Modem - 20C010」であることを確認し、「閉じる(C)」をクリックします。



以上で、インストールは終了です。